



三寒四温とよく言われますが、そのような天候が続いております。まだまだ寒い今日この頃ですので一層、ご自愛ください。

今月は、インターネット閲覧の基本操作や活用についてを重点的に学習していきたいと思っています。

3月の予定は、右のとおりですのでよろしくお願ひします。

2014 << 3月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



難しい文字の入力

ゐ
 い
 𐄂
 え
 エ
 ヴ

WI

WE

VU



インターネットの買い物でクレジットカードは大丈夫？

インターネット上でクレジットカード番号を入力して大丈夫？と心配になる気持ちも分りますので、以下に注意点をご紹介します。

1. まず利用するホームページが信頼できるかどうか確認

インターネットで通信販売を行なう場合は『特定商取引法の通信販売の規定』に従う義務があります。具体的には責任者の名前や所在地、連絡先、引き渡し時期、返品条件など表示が必須です。

これに準じた表示がない（責任者名がない）ホームページで商品を買うのは、クレジットカードの心配以前の問題です。また表示はあって当たり前で、それが正しいかどうかはわかりません。

特に高額な商品を購入する場合、表記されている連絡先に電話やメールをして対応を確認するといいでしょう。

2. カード番号を入力するページのセキュリティ対策を確認

インターネットでは情報のやり取りを行う際、ネットワーク上に「情報を伝える中継のためのコンピュータ（サーバー）」を経由するため、途中で情報が「覗き見」される可能性があります。そこで情報を「暗号化」することにより途中で除き見されても大丈夫となる「セキュリティ対策」が重要になってきます。現在、最もよく使われているのは **SSL**（セキュア・ソケット・レイヤー）です。

◎ 「SSL」が使われているかの判断は、アドレスが「https://」ではじまっていることで識別できます。

アドレス欄 <https://www.amazon.co.jp/exec/obidos/1>

また Internet Explorer の場合、ブラウザの右下に「鍵のかかった状態のアイコン」が表示されます。



もちろん暗号化をすれば絶対大丈夫かといえば、これもそうではありません。しかし、それを言い出すと「鍵をかけてもドロボウから絶対大丈夫ではないから外出できない」と同じで、インターネットを使った活動は何も出来なくなります。逆に言えば、暗号化などセキュリティ対策をしていないホームページでは、クレジットカードの番号は絶対に入力しないことです。

3. クレジットカード会社からの明細をきちんとチェック

クレジットカードで大きな被害に遭うのは、月々のカード利用の明細をきちんとチェックしていない方です。つまり万が一、不正に利用されたとしても、利用明細で身に覚えのない請求があれば、すぐカード会社に届けさえすればいいのです。

そのためにも届出に必要な「購入の確認のため送られてくる電子メール」などはきちんと保存しておきましょう。購入後に画面に表れる内容確認の表示を印刷しておくのも有効です。